自己評価票

作成日 平成24年 3月20日

【事業所概要(事業所記入)】

| | [事未用版文(事未用配入)] | | | | | | | | |
|--|----------------|---------------|----------------|--------|-----|--|--|--|--|
| | 事業所番号 | 0870700192 | | | | | | | |
| | 法人名 | 株式会社 ユニマットそよ風 | | | | | | | |
| | 事業所名 | 結城ケアセンターそ | ユニット名 | ゆりユニット | | | | | |
| 〒 307 - 0001 所 在 地 茨城県結城市結城 9 2 3 番地 1 | | | | | | | | | |
| | 自己評価作成日 | 平成23年 3月20日 | 評価結果 市町村受理日 | 平成 年 | 月 日 | | | | |

| * | 事業所の基本情報は | 、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。 |
|---|-----------|---------------------------------|
| | | |
| | 基本情報 | |

【評価機関概要(評価機関記入)】

| 評価機関名 | 社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 | | | | | | | | |
|-------|---------------------------|---|---|---|--------|-------|---|---|---|
| 所 在 地 | 〒310-8586 水戸市千波町1918番地 | | | | 茨城県総合福 | 首社会館内 | | | |
| 訪問調査日 | 平成 | 年 | 月 | 日 | 評価確定日 | 平成 | 年 | 月 | 日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様お一人おひとりの"今"に"この時"に望むこと・思うことに寄り添い、個性や特性が活かされた生活が継続できますよう、支援に取り組んでおります。

| 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】 |
|-----------------------------------|
| |
| |
| |
| |
| |
| |

| 自 | 外 | | 自己評価 |
|-----|-----|---|---|
| 己評価 | 部評価 | 項目 | 実施、状況 |
| | I | 理念に基づく運営 | |
| | | ○理念の共有と実践 | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業 所理念をつくり、管理者と職員は、その理念 を共有して実践につなげている | グループホーム独自の理念を掲げ、毎朝の申 し送り時間に管理者を含む職員は理念の唱和 に取り組み、意識を高めている。 |
| | | ○事業所と地域とのつきあい | 自治会に加入。回覧板にて地域の情報を収 |
| 2 | 2 | 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として 日常的に交流している | 集、またグループホームの情報誌を交付し地域住民の方々を納涼祭に招待したり、祇園祭には神輿の休憩所として、駐車場を開放するなど地域の一員として取り組んでいる。 |
| | | ○事業所の力を活かした地域貢献 | |
| 3 | | 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 『認知症地域サポート相談窓口』を設置し、 地域に配信。また、センター1階ホールを開 放し介護保険についての講座を地域住民の 方々対象に実施している。 |
| | | ○運営推進会議を活かした取組み | |
| 4 | 3 | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 参加者メンバーの皆様から率直な意見・助言 を頂き、ご利用者様の生活の支援に活かすよ う努めている。 |
| | | ○市町村との連携 | 市町村担当者に直接訪問し確認する内容や気 |
| 5 | 4 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積極 的に伝えながら、協力関係を築くように取り 組んでいる | 軽に電話にて相談・助言を頂く等、連携は図れている。また、『結城市地域密着型サービス事業所連絡会』に加盟し市内状況の把握に努め協力体制を整えている。 |
| | | ○身体拘束をしないケアの実践 | 『身体拘束対策委員会』において、定期的な |
| 6 | 5 | 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型 サービス指定基準及び指定地域密着型介護予 防サービス指定基準における禁止の対象とな る具体的な行為」を正しく理解しており、玄 関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取 り組んでいる | 会議・研修会の実施により全職員が周知徹底を図り身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。なお、一部のドア施錠については、ご家族様の希望、了承を得て実施しております。 |
| | | ○虐待の防止の徹底 | |
| 7 | | 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 『虐待防止対策委員会』において、定期的な会議・研修会の実施により全職員へ周知を図り未然に防ぐ努力をしております。 |

| 自 | 外 | | 自 己 評 価 |
|-----|-----|--|---|
| 己評価 | 部評価 | 項目 | 実施状況 |
| | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 | 権利擁護について、勉強会の機会を持ち理解 |
| 8 | | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や 成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、それらを活用 できるよう支援している | を深めるよう努めているが、知識に不十分な面も一部あると考えられる。現在、ご利用者様の必要性は無いものの内部・外部の研修も含め知識拡大に努めたい。 |
| | | ○契約に関する説明と納得 | |
| 9 | | 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用 者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説 明を行い理解・納得を図っている | 契約時・退去時において契約書・重要事項・ 預り金規程・個人情報・自己評価・その他の 書類について様々な内容を理解されるまで充 分な説明を実施し手続きをしている。 |
| | | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 日常的に意見を頂ける関係は確立しているが |
| 10 | 6 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それら を運営に反映させている | グループホーム玄関に設置する無記名アンケートにより率直なご意見が頂ける様『ご意見箱』を用意し取り組んでいる。 |
| | | ○運営に関する職員意見の反映 | た日1日 - ウ切入業とウセンナハム(で) 人)、 |
| 11 | 7 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意 見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月1回、定例会議を実施し充分な話し合いの場を設けている。また、会議以外においても気軽に意見・相談できる時間・関係を築いている。 |
| | | ○就業環境の整備 | 日常的に個人の状況を把握し、定期的な面談 |
| 12 | | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | を通して意識の確認・個人が抱える課題・人 的関係性・モチベーションの確認・その他 様々な内容において傾聴し相談出来るよう努 めている。 |
| | | ○職員を育てる取組み | |
| 13 | | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内部・外部研修インフォメーションの情報を 提供し参加を促している。また、外部より講 師を招き勉強会を開催するなど人材育成に努 めている。 |
| | | ○同業者との交流を通じた向上 | 『結城市地域密着型サービス連絡協議会』に |
| 14 | | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | 加盟し他事業所との情報交換・共有に努めているが、『介護職員交換研修』の意見・提案をさせて頂いた経緯もあることなどから、今後、積極的に取り組んで参ります。 |
| | | | <u> </u> |

| 自 | 外 | | 自己評価 |
|-----|-----|---|---|
| 己評価 | 部評価 | 項目 | 実施状況 |
| | Π | 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が 困っていること、不安なこと、要望等に耳を 傾けながら、本人の安心を確保するための関 係づくりに努めている | 担当の介護支援専門員より情報を収集し、また在宅サービスにおける状況や様子なども含め入居に伴う事前調査時にご本人の思いや希望・願いに傾聴し不信感を抱かれ無いよう取り組んでおります。 |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に耳 を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居相談時、ご家族に対し受容的態度で要望 や不安の理解に努め、ご家族と共にご本人を 支える支援を説明させて頂き、関係性を深め る努力をしている。 |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支援 を見極め、他のサービス利用も含めた対応に 努めている | ご本人様・ご家族様にとって最善の方法は 『何か』を一緒に考え情報を提供し最優先す べき支援を提案させて頂いております。 |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 人生の先輩であり、時には職員が親子のように、また孫や嫁・息子・友人であるかのように関係性は多様に変化し、演じながら自然な形で暮らしを支え過ごしています。 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 毎月『ご利用者様月間報告書』. を送付し1 ケ月のご様子を記載すると共に些細なことで も連絡・相談をすることで家族と共に支える 意識が高められるよう取り組んでいる。 |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に努 めている | 入居前にご利用されていた美容・理容店の継続利用や知人・友人がいつでも訪れていただけるよう面会時間を定めず来所して頂いたり馴染みの商店での買い物等、個人の思いに応えるよう努めている。 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが 孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合 えるような支援に努めている | 利用者様の人的関係性は充分把握しており、 職員の介入や座席への配慮・個人の希望等、 孤独と捉える事がないよう充分に注意し、支 援に努めている。 |

| 自 | 外 | | 自 己 評 価 |
|-----|-----|---|---|
| 己評価 | 部評価 | 項目 | 実 施 状 況 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これ までの関係性を大切にしながら、必要に応じ て本人・家族の経過をフォローし、相談や支 援に努めている | 契約終了時、ご本人様の現状報告をスムーズにし、別のサービスに移行できるよう努め、 その後のご本人様の経過等についても確認で きるよう関係を保つよう努めている。 |
| | Ш | その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジ | シメント |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向 の把握に努めている。困難な場合は、本人本 位に検討している。 | ご本人様の考えや思いに傾聴し把握に努め応じるよう努力している。また、意志を伝える事が困難な方に対し日々の表情や仕草、そして行動など確認しながら支援に取り組んでいる。 |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、 生活環境、これまでのサービス利用の経過等 の把握に努めている | 入居前の事前調査により、ご本人様の情報収 集を行ない、バックグランドを重視する支援 を心掛けるよう取り組んでおります。 |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、 有する力等の現状の把握に努めている | 日々のご様子・個人の記録内容・その他、行動や活動また変化など見逃すことが無いよう個々の有する力の把握に努めております。 |
| 26 | 10 | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、それぞれの意見やアイディアを 反映し、現状に即した介護計画を作成してい る | ご本人・家族の意見・要望を伺ったうえで会議を開催し職員の視点や考え等も含め(モニタリングは3ヶ月に1回実施)それぞれの思いが込められた介護計画書作成に取り組んでいる。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共 有しながら実践や介護計画の見直しに活かし ている | 介護計画書に沿った記録を行ない、また記録申し送りノート内容などから新たな視点・発見などもあり介護計画書作成に反映されている。 |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 併設事業所においてカルチャー教室を開催していることもあり、希望により『フラワーアレンジメント教室』『ハンドメイド教室』『ペーパークラフト教室』に参加。他、数々の慰問ボランティアイベントを楽しまれている。 |

| 自 | 外 | | 自 己 評 価 |
|-----|-----|--|--|
| 己評価 | 部評価 | 項目 | 実 施 状 況 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源 を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安 全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう 支援している | 災害時において自治会や地域住民の応援・協力体制を書面契約にて締結し、また地域の広報誌により参加可能な季節の行事を収集し、 積極的に暮らしに取り入れ楽しむ機会を意図的に設けている。 |
| 30 | 11 | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所の 関係を築きながら、適切な医療を受けられる ように支援している | 馴染みの関係と信頼・安心あるかかりつけ医 との継続的医療は可能な限り実践している。 やも得ず、ご家族様の希望により他、医療機 関を希望される場合などは情報を提供し充分 に納得いただけるよう努めている。 |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看 護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切 な受診や看護を受けられるように支援している | 職員体制において、現在、看護師配置が不可能な為、5月1日より訪問者護STとの医療連携体制を結ぶ予定である。また、これまで併設事業所の看護師が相談に応じていただいていた経緯もあり協力体制を整えるよう努めている。 |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院中は定期的に様子を伺い、その都度、病棟看護師または担当看護師に病状の確認・本人様の状況また退院の見込み等、情報収集に努めている。 |
| 33 | | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合いを 行い、事業所でできることを十分に説明しな がら方針を共有し、地域の関係者と共にチー ムで支援に取り組んでいる | 5月1日より訪問者護STとの医療連携体制を整備するため準備を薦めている。今後、出来る事を見極め、ご家族様の要望を確認しつつ終末期ケアに向けた取り組みを医療関係者と共に実現したいと考える。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全て の職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的 に行い、実践力を身に付けている | マニュアルの整備・定期的な勉強会など知識習得に備えている。が、職員個々の能力・経験の格差等がうかがえる。事例検討会議などを通して実践への備えに努めたい。 |
| 35 | 13 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問 わず利用者が避難できる方法を全職員が身に つけるとともに、地域との協力体制を築いて いる | 災害時の緊急電話対応・消火器の設置場所と 使用方法・避難通路及び自治会各代表者への 応援要請・職員全員が習得するまで繰り返し 訓練実施に取り組んでいる。 |

| 自 | 外 | | 自己評価 |
|-----|-----|---|--|
| 己評価 | 部評価 | 項目 | 実 施 状 況 |
| | IV | その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個性を尊重し一人ひとりに合った言葉の表現 言葉住いに留意するよう配慮している。ま た、会議において、確認をし尊厳が保たれる よう『振り返り』に努めている。 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表した り、自己決定できるように働きかけている | 日常的な関わりの中で言葉や行動から思いが 導き出せるよう働きかけると共に、自己表現 が出来る関係性や環境つくりに努めている。 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日 をどのように過ごしたいか、希望にそって支 援している | 1日の時間の流れに考慮しながらも、ご利用 者様のペースを大切にし、ご本人の希望に出 来る限り添えるよう取り組んでいる。 |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご本人の好みの衣類購入や理容店・美容室への個別対応や化粧品の購入等、一人ひとりのこだわりや噂好を大切に支援に取り組んでいる。 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の配膳から片付けまで、個人の有する力が発揮できるよう支援している。また、食事が楽しい時間となるように気の合う仲間と食卓が囲めるよう座席の配慮に努めている。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量・水分量の記録にとどめ健康管理に努めている。また、食事・水分の提供方法を工夫し一人ひとりに応じた取り組みを実施している。 |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じ た口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを実施して頂いている。ご 自身での口腔ケアが困難な方に対しては介助 にて清潔を保ち、洗浄剤の使用や外出時の嗽 なども含めて実践している。 |

| 自 | 外 | | 自己評価 |
|-----|-----|---|---|
| 己評価 | 部評価 | 項目 | 実 施 状 況 |
| | | ○排泄の自立支援 | |
| 43 | 16 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人 ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かし て、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支 援を行っている | 可能な限りお手洗いでの排泄を促すため、排 泄チェック表の記録確認や排泄状況を把握し 個別誘導・声掛けにて支援に取り組んでいる |
| | | ○便秘の予防と対応 | 便秘を予防する為、牛乳・ヤクルト等乳製品 |
| 44 | | 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物 の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた 予防に取り組んでいる | を多く摂取していただけるよう心掛け、また 運動レクリエーションを取り入れ身体を動か して薬剤に頼らないよう努めている。 |
| | | ○入浴を楽しむことができる支援 | 毎日、入浴をして頂ける支援体制を整えてお |
| 45 | 17 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて 入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や 時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入 浴の支援をしている | り気の合う仲間同士、または沐浴剤を使用して様々な色・香を楽しまれている。また、個大のタイミングに合わせ自由な時間に入浴できる支援に努めております。 |
| | | ○安眠や休息の支援 | 利用者様の個々の身体状況やご希望に応じて |
| 46 | | 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に 応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠 れるよう支援している | 午睡や静養の時間を確保し、夜間の良眠へと 導けるよう日中の活動量にも配慮した支援に 取り組んでいる。 |
| | | ○服薬支援 | ご利用者様の既往症・現病から薬剤情報の把 |
| 47 | | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 握に努め常時、観察を怠らないよう努めております。内服薬の増量・新薬の投与・バイタルの変化等、ご家族・主治医との連携に努めている。 |
| | | ○役割、楽しみごとの支援 | 各、個人個人の趣味(編み物・生け花・習 |
| 48 | | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 字・他)や得意分野(漬物作り等)を把握し 負担の無い範囲での役割ごとへの挑戦など身 近な喜びやできる楽しさを味わう支援に取り 組んでいる。 |
| | | ○日常的な外出支援 | |
| 49 | 18 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 各個人の希望、必要性に応じて散歩や買い物など日常的に活動をしている。また、季節を楽しむ機会などを設け遠方までの外出やファミリーレストランでの食事など職員側からの働きかけで取り組んでいる。 |

| 自 | 外 | | 自己評価 |
|-----|-----|--|--|
| 己評価 | 部評価 | 項目 | 実施、状況 |
| | | ○お金の所持や使うことの支援 | |
| 50 | | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 現金を自己管理する利用者様そして現金使用 希望時の同行等、必要な時に自由に希望に応 じるよう取り組んでいる。 |
| | | ○電話や手紙の支援 | 希望に応じて電話をかけられたりまた、一緒 |
| 51 | | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | に年賀状を書かれたり、お孫さんからのお便りなど『絆』を大切にした支援に努めている。 |
| | | ○居心地のよい共用空間づくり | |
| 52 | | 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 四季折々の手作りの作品や生け花・置物を飾り、また匂いや汚れ等清潔に留意し利用者様が快適に過ごす事ができるよう取り組んでいる。 |
| | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づく り | |
| 53 | | 共用空間の中で、独りになれたり、気の 合った利用者同士で思い思いに過ごせるよう な居場所の工夫をしている | ソファーや畳コーナーの設置により一人ひとりが思い思いの好み場所で過ごせるような空間づくりに努めている。 |
| | | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 | ご家族様に自宅で使用されていた物また愛用 |
| 54 | 20 | 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族 と相談しながら、使い慣れたものや好みのも のを活かして、本人が居心地よく過ごせるよ うな工夫をしている | 品等を持参していただけるよう説明させていただいている。個人の思いや好みを大切にして頂きたいと考えるため、入居後も継続的にご家族様に伝えるよう努めている。 |
| | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づく り | |
| 55 | | 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 家具や電化製品の配置に工夫し、整理整頓を 心掛け、危険が無い住環境を提供しておりま す。 |

| | V アウトカム項目 | |
|----|--|---|
| | | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25) | 1,ほぼ全ての利用者の ○ 12,利用者の2/3くらいの 3,利用者の1/3くらいの 4,ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38) | ○ 1,毎日ある 2,数日に1回程度ある 3,たまにある 4,ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38) | 1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 1,ほぼ全ての利用者が ○ 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 1,ほぼ全ての利用者が ○ 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31) | ○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28) | 1,ほぼ全ての利用者が ○ 2,利用者の2/3くらいが 3,利用者の1/3くらいが 4,ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19) | 1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:9,10,19) | 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの 拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4) | 1,大いに増えている ○ 2,少しずつ増えている 3,あまり増えていない 4,全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目:11,12) | 1,ほぼ全ての職員が ○ 2,職員の2/3くらいが 3,職員の1/3くらいが 4,ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思 う。 | 1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | 1,ほぼ全ての家族等が ○ 2,家族等の2/3くらいが 3,家族等の1/3くらいが 4,ほとんどいない |